

## 会 議 録

### 1 会議名

平成 27 年度第 5 回上越市地域公共交通活性化協議会

### 2 議題

協議事項

- 議案第 1 号 上越市地域公共交通再編実施計画案について
- 議案第 2 号 再編計画案に基づく路線バスの見直しについて
- 議案第 3 号 今年度の利用促進について

### 3 開催日時

平成 28 年 2 月 17 日（水）午後 1 時 30 分から

### 4 開催場所

上越市役所 4 階 401 会議室

### 5 傍聴人の数

0 人

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した人

- 委員： 川上宏、大谷一人、渡邊明彦、鳥越元一、内山敏雄、竹田幸則（代理：岡田雅美）、常山哲（代理：有波修）、市川公男、伴孝之（オブザーバー：山崎勉）、岩井文弘、横田智、白砂千佳、渋谷聡、小口幹久
- 事務局： 金山課長、布施副課長、池田係長、武藤主事、矢端主事、武田主事（新幹線・交通政策課）

## 8 内容

### 1 開会

(事務局)

ただ今から、平成27年度第5回上越市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

本日は、お忙しい中、皆さまからお集まりいただき誠にありがとうございます。

本日は、協議事項が3件あります。

本日の出欠は、お手元に配布させていただきました委員名簿にてご報告に代えさせていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

あらかじめ送付しました資料は「次第」、「議案書」、「資料1-1」「資料1-2」、「資料2-1」、「資料2-2」です。本日、「資料1-1」を差し替えましたので改めて用意させていただきました。また、本日お手元にご用意させていただいた資料は、参考資料と書かれました資料一式、新幹線開業記念イベント「国際ご当地グルメグランプリ」のチラシ、えちごトキめき鉄道さんのリゾート列車「雪月花」のチラシ、北越急行さん「特急はくたかフェス」のチラシ、意見シートです。よろしいでしょうか。

### 2 挨拶

(事務局)

それでは、次第に従いまして会議を進行いたします。

始めに、会長からご挨拶をお願いいたします。

(川上会長)

お忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。今年には降雪が少なく交通事業者さん、特に鉄道やバス会社さんにつきましては、大きな運休や遅延がないと伺っております。ただし、雪が少ないと建設事業者さんの仕事ですとか、農業関係ですと夏場の水不足等も懸念されますので、雪というのは私どもの暮らしに密着しているものかなと改めて感じております。

市民の皆さん、通常は自転車やバイクなどで通勤通学をしておられる方も、冬になるとそういうものではないかもしれません。鉄道やバスなどの公共交通機関というのは、冬になると一層大切な市民の皆さんの足になるのかなと思っております。これからも降雪期が続きますので、交通事業者の皆さんにおかれては安定した運行をお願いします。

それから、新聞やテレビなどで報道されましたが、1月15日に長野県軽井沢でスキー客を乗せた観光バスが大きな事故を起こしてしま

いました。国が調査を行っていると思いますが、構造的といいますが、様々な問題が絡み合う中で運行事業者の管理体制にも問題があったのかなと思っております。上越市内ではこのようなことは無いと思っておりますので、鉄道事業者さんも含めて公共交通機関の一番大事な安全な輸送ということにつきまして、改めてお願いしたいと思っております。

それから、北陸新幹線、えちごトキめき鉄道等が開業いたしまして1年を迎えようとしております。おかげさまで利用はそれぞれ順調に推移していると伺っています。チラシを配布させていただきましたが、3月11・12・13日に1周年記念イベントを計画させていております。ぜひ、委員の皆さんからもご出席いただきたいと思いますと思っております。

本日の議題ですが、地域公共交通のネットワーク再編計画につきましては、本日成立させていただきたいので、皆さん方から忌憚のない意見を頂戴くださるよう、どうぞよろしくお願いたします。

(事務局)

ありがとうございました。

それでは続きまして、次第「3 協議事項」に移らせていただきます。

ここからは、会則第8条第1項の規定によりまして、会長から議長を務めていただきます。よろしくお願いたします。

(川上会長)

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。

本日の出席ですが、委員数20名に対しまして代理も含め14名で、会則に規定する半数を超えておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

### 3 協議事項

(川上会長)

それでは次第の「3 協議事項」に入ります。

議案第1号「上越市地域公共交通再編実施計画案について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(議案書2ページ、資料1-1、資料1-2、参考資料より説明)

(川上会長)

議案第1号につきまして、ご意見、ご質問等いただきたいと思いますと思いますが、名称ですとか内容等で若干変更させていただきましたので、白砂委員から補足などがございましたらお願いしたいと思います。

(白砂委員)

新潟運輸支局、白砂です。

ただいま事務局から説明いただいて、わかりやすい説明でほとんど補足というのではないと思っています。

昨年度の上越市総合公共交通計画、地域公共交通網形成計画の位置付けとして作成した計画から始まって、今年度のネットワーク再編計画では、それをより具体的に実現に向けて方向性を示すというみんなの気持ちをつにして向って行くぞという、1段階具体的なネットワーク計画を作っていただきました。上越市さんのこの協会の委員の皆さまにも、それぞれのお立場でご意見ご提言いただきながら、一生懸命に議論していただいて、とても良い計画になっていると思っています。

国が進めております公共交通政策を実現するために各市町村で一生懸命に頑張っていると思いますが、上越市さんの場合、多くの市町村が合併されて、いろんな地域的な温度差といいますか、それぞれの歴史的な交通があったりとか、いろいろ地域の課題を抱えている中で、それぞれの地域の実情に合った、きめ細やかな分析をしていただいたり、地域に入っているいろいろな話を聞いていただいたり、要望、課題を明確にしてご苦労されて計画を作っていただいているところに対しまして、国の立場としまして、お礼を申し上げたいと思います。また、ここまでくるにあたっての、委員会の委員の皆さまの一生懸命と一緒にあって、同じ方向を向いてお考えいただいたということに対しても、本当にありがたいなと思っています。

先ほど事務局から名称変更ということで説明いただいたことにつきまして、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に規定されていますが、去年作っていただいたのが、地域交通網形成計画という法律に名前がのっている計画であり、最終的に市の地域の交通ネットワークを再編していくという実際の運行の内容を具体化させて申請していただくのが再編実施計画という名前になっています。法律の言い回しだったり、いろんな誤解をまねかない為に、運輸局からご提案させていただいて、今回の流れになったということです。

現在作成している計画は、アクションプランとしての位置付けであり、また、活性化再生法には交通網形成計画を実施するものとしてすぐに再編実施計画ということで、地方自治体が事業者さんと調整をして、一足飛びに再編実施計画を定めるという法律の流れになっています。

上越市さんの場合は、より分かりやすい形でアクションプランという方向性を示した計画というのをお作りいただいて、これがまた市民の皆さまにとってもとても分かりやすいものになっているので

はないかと思えます。より身近に感じることができるようになっていて、これからの公共交通政策というのが進められていくのではないかと期待しています。

今後の流れとしましては、今日ご議論いただいて、やがて再編計画の方向性に基づいて、市が事業者と直接調整をして、再編実施計画を作って、私どもへ申請をいただきます。当然、認定審査をする場合には、今回ご議論いただいているネットワーク再編計画の趣旨、方向性に基づいてきちんと計画がたてられているかというところについても、運輸局として見させていただきましますし、皆さまのご議論の結果は十分尊重させていただくのは当然のこととして進めていきたいと思っております。

本協議会の目的としては、計画の作成というのも大きな柱になっていますが、今後皆さまで生み出したこの計画は、実施して実現させて育てていかななくてはなりません。これから運行の検証、評価というところで、次にどうやって繋げていくのかと、その都度見直しをしていただき、このような作業も協議会のとても大事な役割になります。

今後ともいろんな場面でご協力いただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(川上会長)

変更箇所や内容、今後の検証、見直しのアドバイスを頂戴いたしました。ありがとうございました。

全体を含めてご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

(岩井委員)

資料1の18ページ、20ページ、21ページの評価についてですが、何のために評価するのかということ考えた時に、再編計画を推進していくために評価が必要だろうと私は思います。

18ページに、評価の視点が3点あげてあります。1つは役割、もう一つは利便性、最後に収支率、この3点があげてあって、そして、20ページの各路線の評価表のところに、細かい項目を設けて、○×△ないしは数字が並べてあります。

これで十分と考えられますが、私個人としては、再編計画を進めていく時に、この路線はここの部分が不足しているとか、ここの部分はプラス、そういうことで見ていけば十分かと思えますが、総合的な評価、たとえばABCDEでも結構ですし、何段階でも結構ですが、数字の5段階、そのような評価というのが必要なのか。必要がないからこそ、記載していないと思えますが、事務局のお考えを教えていただければと思います。

(事務局)

今回路線の再編を作るために、再編のきっかけとなるためには、現状をとらえまして、そこに過不足がある、こういったものが必要かといったところのきっかけが必要というところで、この評価を考えたところです。

路線の評価を考えた時に、今回の再編計画の出発点は、昨年度に作成しました総合公共交通計画の目標をどうやったら達成できるかということです。その目標には、様々な目標を掲げておりまして、資料1-1の8ページに記載してありますが、路線バスの利用者数とかトキメキ鉄道さんの乗車人数などです。また、路線バスで関わることでしたら、8ページの表の一番下、収支率というところです。

今回の再編計画は路線バスを対象にした再編の内容と利用促進を検討するといったスタート地点に立って、どうやったら昨年たてた目標を達成するかといったところがありましたので、この目標を達成する利用者人数と収支率を一つの指標にあげております。

今回、路線バスの利用者人数をどうやったら増やせるかという部分ですと、きちんと需要に対応できているかというところで、再編の評価の方針1と方針2を掲げて、現在の需要を満たしているかを○△×で評価をしたところです。

方針3の運行の効率化については収支率に跳ね返ってきますので、収支率30%を一つの目安としまして、上か下かといったものです。それぞれ路線の見直しの評価を受けて、こういった見直しが必要かといったところを21ページの個別の評価のところでもとめさせていただきながら、次のページの再編の内容に入ってきたところです。

全体の総合的の5段階の評価がなかなかなじまないというのと、個々の路線の事情が異なり総合的な調整が難しかったかなという部分があります。

ただ再編の内容につきましては、ただ計画を立てるだけでなく、昨年度の計画の中にも記載しましたが、一般的に言われるPDCAのサイクルの中できちんとチェックして、31年度には目標が達成できるように取り組んでいきたいと考えているところです。

そんな評価をしましたので、総合的に1とか2とか、AとかBとかは今回していないところです。

(岩井委員)

そのような説明がいただけるのではないかと感じておりましたが、確かにおっしゃるとおりだと思います。

3つの視点のところ、見直し、すなわち再編イコール減便とか廃便というふうには考えられないものですから、総合的な評価がな

じまないということですので、私はそれで結構かなと思いました。  
ありがとうございました。

(川上会長) 他によろしいでしょうか。

(大谷委員) 北越急行の大谷と申します。

今のお話にも関わってくるのではないかとと思いますが、そもそも収支率の30%というは根拠があつてのものでしょうか。たとえば、持続可能性の問題からとか、ある分析から出たものなのか。

がんばって30%超えたよねという話にもなるでしょうし、そういう話になってくるときに、そもそも30%というのはいったいなんだったのという話にもなりかねません。

スタート地点としては確認させていただきたいと思ひまして、質問させていただきました。いかがでしょうか。

(事務局) 30%というのは、昨年度に作成しました交通計画の中で定めたもので、なぜその時に30%にしたかの説明になります。

交通網形成計画には、具体的な数字目標が必要ということがありました。どの程度の収支率が適切なのかというのを考えた時に、当市の実情としてはだいたい現状で30数パーセントの状態でした。そこを基準にして今後どうしていくかといったときに、国のフィーダー路線という制度がありますが、その適用要件に30%というのがありましたので、国の目標と合わせるような形で目標を立てることによって、私たちの数字も近いところで推移しているものですから、なんとか下回らないように、市の全体の収支率を国のフィーダーの考え方と合わせるような形で設定させていただきました。

(川上会長) 他にございますでしょうか。

なければ、第1号議案について、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

(委員から異議なしの声)

(川上会長) ありがとうございました。

原案のとおり再編実施計画について、名称が変わりまして「バス交通ネットワーク再編計画」ということでご承認をいただいたということです。

(川上会長) 続きまして、議案第2号「再編計画案に基づく路線バスの見直しについて」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) (議案書 3 ページ、資料2-1、資料2-2より説明)

(川上会長) 3月26日から変更するということですが、4路線については、それぞれ地元の懇話会の皆様とご協議する中で、利用実態に合わせながら、利便性を高めるためにいろんなところに乗り入れを検討させていただきました。

ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。  
いかがでしょうか。

(川上会長) 議案第2号について、原案のとおり承認することによろしいでしょうか。

(委員から異議なしの声)

(川上会長) ありがとうございます。  
それではこのように再編を進めて参りますので、よろしく願いいたします。

(川上会長) 続きまして、議案第3号「今年度の利用促進について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) (議案書 4 ページ、参考資料 1 2 ページより説明)

(川上会長) ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

(岩井委員) 昨年も作られた高校1年生を対象としたリーフレットですが、バスの時刻表には、昨年実施された川柳を入れられるということですが、もちろん高校生の作った川柳ですので、ページに余裕がないということであれば仕方がないと思いますが、高校生の川柳を高校生のリーフレットにも載せたらいかがかなと思いました。

たとえば自転車やバイクとか、保護者の自家用車で通学をする場合が多いと思います。公共交通を使って通学した時に、自転車やバイク、自家用車にはない良さがあると思います。それは、人と人との触れ合い、他人との触れ合いだろうと思うんです。今の若い人たちに足りないものは、他人との触れ合いが足りなくて、いろんな問題が起きているわけです。

川柳の中に、優れた川柳ではないかもしれませんが、バスに乗ったり、電車に乗ったり、停留所であったり、駅であったり、そこで



の人と人との触れ合いを読んだものがあったような気がしますので、そういうもの記載し啓発を図るという方法が役に立つのではないかと考えております。

(川上部長)

ありがとうございました。  
素晴らしいご提案ですが、事務局いかがでしょうか。

(事務局)

ご提案いただきありがとうございました。  
スペースは十分に設けられますので、川柳についても記載したいと思えます。選考した21句の中で、最優秀賞、優秀賞を選びましたし、ご提案いただきました人と人との触れ合いが分かるような、川柳を記載できればと思っています。

昨年度に作成しましたリーフレットにも、社会性を身につける良い機会を提供してくれますよということで、社会のルールを尊重したり、多くの人と関われるそんな社会性を身につける機会ですよといった文言も入っていますが、今回はその点についてもう少し深掘りした感じで、デザインできればいいかなと考えております。

(事務局)

最近、電車やバスの中でマナーが悪いということを聞いたりしますので、マナーについても注意喚起といいますか、少し付け加えながら、より良いものをバージョンアップするような形で作っていきたいと思っています。いろんなご意見といただけると、とても参考になりますので、引き続きよろしく願いいたします。

(川上部長)

他に質問、ご意見等はございますでしょうか。

(内山委員)

ハイヤー協会の内山です。

今回の再編計画、先ほど皆さんからご承認いただきましたが、それはよろしいのですが、今後の在り方として一つ要望というふうにとっていただければありがたいと思えます。

この計画につきましては、バス事業の維持ということは大変なことは分かりますが、県内、全国各地では、少子高齢化による人口減が、上越も該当しますが大きな問題になっております。公共交通の活性化については、バスばかりではなく、いろいろな機関で取組みの事例があります。

急で申し訳ありませんが、資料を配布していますので参考にさせていただきたいと思えます。今後の公共交通の在り方として、人口も減っていますから、コンパクトで利便性の良い交通機関としてのタクシーの在り方、タクシーも10人乗りがございますので、そういうものもご利用していただけないのかなと考えております。現に旧

直江津市内ですが、高齢化率が32%過ぎまして、だいたい3人に1人が60歳以上になってきています。こういう状況で、高田、直江津は駐車場とかいろいろな問題がありまして、車を持っている人が非常に少ない状況です。

そういう中で、年々居住が郊外へ移っています。直江津の例をとりますと、大手のスーパーも何年か後には撤退するのではないかと噂があります。市街地の人も郊外まで行って買い物をしなければならない。それも高齢者の方が多い。そういうことになってきますと、非常に高齢者の負担も大きいのかなと感じます。そういう方は自分の買い物をしても、玄関まで運んであげなければならない人が非常に多いです。

私どもも5年位前から高齢者割引、あるいは運転免許返納に取組み、年間1,200万円も割引しており、私どもの経営を圧迫しております。こんなこともいずれ市で高齢者対策を行わなければならないかなと考えております。

資料は、この前の日曜日に、前橋市の市長さんが講演されたもので、市内の空洞化もあるということで、75歳以上の高齢者の方に年間6万円、4億6千万を市で助成した制度を作っている例もあります。これを上越市でやれということではありませんが、そういう例もありますし、また県内においても、村上、三条は公共交通としてもバスをやめて、タクシー主体でやっているところもあります。特に三条は、そういう市街地はほとんど半額くらいを助成していますし、国交省あるいは自治体から毎月のように視察に来ておられるという話もあります。

私どもも今まであまりタクシーのことを皆さんにお願いしてきませんでした。これからはあまりにも過疎地においても、収支率30%で5億円の補助するようなことでは、これからの公共交通を維持できるのかというふうに考えますと、もう少しコンパクトなタクシー利用もお考えいただければと思います。

次回は31年をめどと聞きますと、私ども75も過ぎておそらくここにおられる方も協議会は出られないお年になるかと思えます。そういうことも今後の上越市の公共交通の課題として考えて参考にいただければどうかということで提案させていただきました。ありがとうございます。

(川上会長)

電車やバスだけでなく、タクシーや福祉有償もございます。いろんな交通手段も含めて、これからの公共交通の在り方を昨年から検討する中で、計画を作らせていただきましたが、内山委員から新たなご提案を頂戴したところでございます。おっしゃられる通りだと

思います。事務局で回答できることはありますか。

(事務局)

ありがとうございます。

資料を見ていないのでわかりませんが、いろいろな事例があるというのは聞き及んでいるところでございます。公共交通活性化協議会ということで、会長がおっしゃられましたとおり、様々な手段がありまして、それぞれの手段がそれぞれの目的に沿った形で、運用されるべきものであると思います。

そういった形を組み合わせでいったベストな選択を、どのようにしていけばいいかということを含めて今後ともこの協議会を通じて、検討させていただければと思います。

よろしく願いいたします。

(川上会長)

それと合わせて、今ほど内山委員からもお話がありましたが、タクシーも含めた様々な形態を使っていただくということが大事だと思います。電車もバスもタクシーも皆さんから使っていただくような利用促進が大事だと思います。

使いやすいような形にしていかなければいけないと思っておりますので、引き続きご意見をいただきたいと思っております。私どもも、事業者の皆さんと意見交換をさせていただく中で、より良いものにしていきたいと思っております。

他にございますでしょうか。

(伴委員)

利用促進と合わせて情報発信という面で、スマホでの情報発信は何かお考えになったとかございますか。

(事務局)

妙高市の頸南バスさんでスマホを使ったバスの運行状況の表示をやっていらっしゃるということは、私どもの方でも承知しております。実証実験ということで、どの程度使えるものかそういったところも合わせて、結果を参考にさせていただきながら、検討したいと思っております。

バスの現在地を表す精度に問題があったように聞き及んでいます。携帯電話のアンテナが届かないものですから、分刻みの具体的な位置までは表示できなかったと思います。技術革新も進んでいくところもありますから、バスの主な利用者が高校生というのが当然考えられますので、道案内、現在時刻のバスの状況の案内、そういった面で使えればと考えております。

(事務局)

今回の計画の中で、バスの時刻表などをインターネットで検索で

きるようにする利用促進策を45ページの10番に記載しています。鉄道、バスも首都圏に行けば出てきますが、ヤフーですとかいろいろ検索サイトがありますが、そういったあたりで何か出来ないかなと、計画の中に記載して検討してみたいと、取り組みたいと思っております。

それ以外に利用促進情報の発信となると、どういったものがあるのか私どもも案がないところですが、皆さんの方でお持ちであればそれも教えていただいて、取り組んでいきたいと思っております。

(川上会長) 使い勝手がいいものにしていくというのも利用促進として大事だろうし、そのための情報を発信していくのも大事だろうというご提案だと思います。出来るだけ前倒しで実施できるように、検討を進めていただければと思います。事業者さんからもご協力いただきながら、発信できるものはネットで出していくということでお願いします。

他に、議案第3号の1番下にもありましたが、お試し乗車券、これは今年の1年生をターゲットにやっていきたいということでしょうか。

(事務局) 今回1年生で試してみたいと思います。

(川上会長) それでは、今年の新1年生からトライアルということで、お試し乗車券を取り組んでいくということでございます。

(川上会長) 他にご質問等なければ、議案第3号について、原案のとおり承認することでしょうか。

(委員から異議なしの声)

(川上会長) ありがとうございました。  
それでは、議案第3号は原案のとおり承認されました。

これで、お願いいたしました議案等につきましてはすべて終了いたしました。委員の皆さんの方でチラシ等も頂戴しているようですが、ご説明の方でしょうか。

(大谷委員) お手元に「特急はくたかフェス in まつだい」を配布いたしました。全国にいらっしゃる鉄道ファンの皆さまの中で「はくたか」に対してはいまだに鮮明な記憶もありますので、そういったファンの

方がいらっしゃるので、そういう人たちに松代に集まって話ってもらおうというようなアニメフェスに近いような形で、実施したいと考えております。北越急行「はくたか」が無くなってローカル鉄道として1年目終わろうとしておりますが、とにかく小さな会社でもありますので、いろんなことを発信してチャレンジしていきたいなと思っています。

これ以外にも3月に川口恭吾さんのコンサートの列車を走らせ、お陰さまで満員御礼になりました。他には、ほくほく線を使っている学生の方、もうすぐ卒業される方に、記念のイベント列車を3月上旬に運行する予定です。

引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

(渡邊委員)

えちごトキめき鉄道の渡邊です。

日ごろから当鉄道をご利用いただきましてたいへんありがとうございます。

皆さまのお手元に、リゾート列車「雪月花」のパンフレットをお配りしております。4月23日にデビューします。

各地でリゾート列車が走っておりますが、このリゾート列車は全くの新造車でございます。他は改造が多いのですが、一から作り出したまっさらな列車が走るようになります。

料理も有名な方から監修いただいたものをお出ししたいと思っていますし、値段も高いわけですが、公共交通を楽しんでいただく、違った魅力を感じていただくきっかけになればと、この列車を走らせて行きたいと考えております。地域の方々からも、一度は乗ってみたいなというような魅力あるものにしたいと思っております。ぜひよろしくお願いいたします。

合わせて、まもなく開業1年になります。上越市さんと協力しまして1周年イベントを実施します。

ぜひ皆さんからも応援していただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(川上会長)

ありがとうございます。

他によろしいでしょうか。

なければ、事務局、よろしくお願いいたします。

(事務局)

いま渡邊委員さんからもお話がありました、えちごトキめき鉄道さんの開業1周年記念イベントについてですが、チラシをお配りしてご案内させていただければと思いましたが、準備が整っておりま

せん。3月12日に妙高はねうまラインで、3月20日に日本海ひすいラインでイベントを実施したいと考えております。チラシは、今週末くらいに出来上がりますので、完成次第、皆さまのところに郵送させていただいてご案内させていただきますので、イベントに足を運んでいただければと思います。

もう一点、前々回に岩井委員から、上下浜駅でえちごトキめき鉄道の乗車券が買えないという話を頂戴いたしました。上下浜駅で切符を買おうと、直江津駅までの切符は買えますが、高田駅まで買おうとすると、直江津から高田間の運賃については券売機で買えないので、高田駅で降りたらそこで清算してくださいという案内になっているということでした。

市内で言いますと、信越本線の無人駅は3駅ありますが、黒井、土底浜、上下浜の券売機の状況をJRに確認したところ、券売機の老朽化に伴って、更新作業が行われました。具体的には、上下浜駅ですと去年の11月11日、黒井駅ですと11月26日。ここで券売機が置き換わって、今度はえちごトキめき鉄道までの切符がその駅からでも買えるようになったということです。土底浜駅だけ対応されていませんが、来年度以降更新をしていきたいとJRから回答いただきました。ただ、券売機のボタンの数に限りがありまして、利用の多い春日山、高田、南高田、上越妙高、この4駅についてはボタンが設置され、上下浜、黒井駅からも切符が買えるようになりました。

(川上会長)

ありがとうございました。

それでは、すべての審議が終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。ご協力、ありがとうございました。

#### 4 その他

(事務局)

事務局から次回の協議会についてお知らせします。

3月末頃に平成28年度の事業計画、当初予算案につきまして、ご審議いただきたいと思っております。他に、意見シートを付けさせていただきました。本日の議案について気付いたこと、ご意見、新たなご提案等ございましたら、事務局へお知らせください。

他に、皆さまから何かございますでしょうか。

#### 5 閉会

(事務局)

特に無いようですので、平成27年度第5回上越市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。

長時間にわたり、ご審議ありがとうございました。

|

以上